



てらるるる



2020年
9月
No.873

■発行所 ■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <https://jelc.or.jp/>
■E-mail ■ jelc@jelc.or.jp

■発行人 ■ 李明生 koho@jelc.or.jp
■印刷人 ■ 精文堂印刷株式会社
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)
■振替口座 ■ 00190-7-71734

説教 「主が共に」

日本福音ルーテル恵み野教会牧師・札幌教会協力牧師 中島和喜

『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』
この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。』
(マタイによる福音書 1:23)

私が遣わされている恵み野教会には、教会が建てられた当初から来られていたご高齢のご夫妻がいました。どれくらいご高齢かという、作家の三浦綾子さんと青年時代に一緒に活動していたというくらいにはご高齢でした。「綾子さんはね…」と親しそうに話す姿に、初めは「それほどの親しみを覚えるほどにたくさんの本を読んできたのか」と思っていました。本人と仲が良かったと聞かされた時には大変驚きました。そのご夫妻はいつも信仰の話を穏やかに話してください、まさに主が伝える「平安」を体現しているようなご夫妻

でした。しかし、お二人ともご高齢であったため、今年の年初めから夫婦それぞれ施設に入ることにになり、教会にはなかなか来られなくなりました。最初は訪問させていただきましたが、COVID-19の影響により親族以外は施設に訪問することが出来なくなり、電話や手紙でのやり取りになっていきました。いつも穏やかであったお二人からも「寂しい」という声が次第に挙がるようになり、自粛という事態に重くのしかかる「孤立」という問題に直面することとなってしまったのです。今まであった関係の方々とお交わりを持ってないことの痛みはとてつもないものでした。私たちが思う以上に「寂しい」という感情は寂しさを伴うのです。寂しさを携えながら日々を過ごさざるを得ない中で、そのご夫妻は5月7月と短い期間でお二人とも天に召されました。

お見舞いはおろか、臨終の際にも少しの時間しか与えられず、誰もいない病室で静かに最期を迎えることはどれほどの痛みだったのだろうかと考えずにはいられません。その悲しみの淵にある中で、ご遺族の方から「葬儀の際に読んでほしいみ言葉を本人が生前に決めていた」と伝えられました。そこで与えられたみ言葉はルカ24章36節、復活の主が弟子たちに現れ、「あなたがたに平和があるように」と語られた箇所でありました。そのみ言葉によつて、まるで「私は大丈夫ですよ」と声をかけられているような感覚を抱き、ようやく私は思い起こしたのです。たとえ最期は一人であつたとしても、その場所には必ず主が共にいてくださったはずだと。そのことを通して、私は大きな慰めを受け取つたのです。

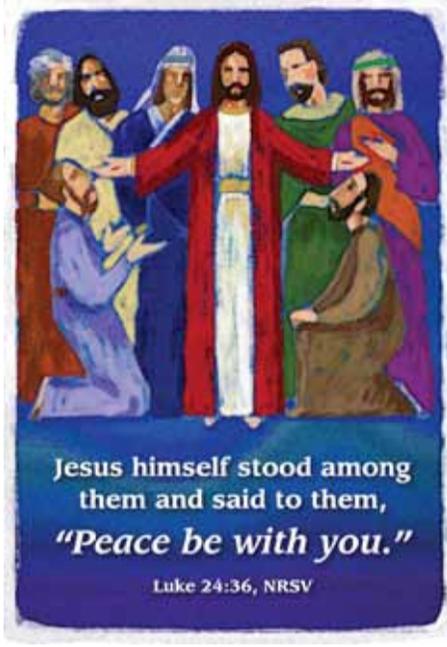
今、私たちはマタイ福音書を読み進める年が与えられています。マタイ福音書は「神が我々と共にいてくださる」という言葉と共に始まつていく福音書です。まさに今、私たちが思い起こすべきみ言葉であるように思います。「主が共にいてくださる」というみ言葉を、私たちは今どれほどの喜びをもって受け取っているかを問い直したいのです。



孤立の痛みが起こっているように思います。だからと言って、なり振りかまわず活動再開をすれば良いというものでもありませんから、私たちは余計に葛藤を抱かされま

す。そんな私たちにできることはなにもありません。「主が共にいてくださる」という喜びをまず私たちが享受することではないでしょうか。苦しみと直面すると、私たちはその豊かさを見失っていきま

す。だからこそ、今一度思い起こしたいのです。私たちに与えられている信仰は必ず「主が共に」という喜びを与えてくださるのです。たとえどのような状況になろうとも、私たちは孤立することはないのです。そして今度はその喜びを誰かに伝えていくことが、今の私たちにできる働きであるように思います。その方法を考えることはまた難しいものですが、いつであつても私たちはまず、自らの豊かさから出



発していききたいのです。あなたは一人ではありませぬ。いつも主が共にいてくださるのです。今もなお苦しみの中にある方々を覚えて祈り続けていきたいと願います。あなたがたに平和があるように。

「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。」
(マタイによる福音書11:28)

「失礼します。おはようございます。」いつもあまり訪問しないお部屋に、なんとなく訪問しました。その時、部屋の方はベッドに仰向けのまま目を開かれておられたので、冒頭にある聖句をお読みしました。すると突然「おー!」と叫ばれ、びっくりした私は「あつごめんなさい。うるさかったかしら?」と言って、その方を覗き込むとキョトンとされてたので、あれ違ったかなあ、うるさいから叫ばれたんじゃないかとしたら、じゃああれはなんだろうと思いつつ、その方のお部屋から出て他の部屋へ行きました。

他のお部屋でも初めに訪問させて頂いたお部屋の方と同じ聖書箇所をお読みしたとき、いつもはあまり反応のない、他のお部屋の方から「ありがと。」と言われ、驚きながらももしかしてと思い、初めに訪問させて頂いた方のお部屋に行き、「先ほどは「ありがと。」って言われたんですね」と言いましたが、その方はスヤスヤ眠られておられました。



伊藤早奈

第2回オープン・セミナー
2020年10月18日(日)15~21時
オンライン開催
●参加定員10人
牧師の働きや教会関連施設での働きに関心を持つ方々(集まり、これからの教会のあり方について共に学び、生き方と信仰について分かち合うプログラムです。参加希望者は、所属教会牧師からの推薦とともに各教区長にお申し込みください。
●申込締切9月20日(日)
※詳細は4面をご覧ください。



人生の午後の時間のために、敬老の日によせて

らが一段落してから今度は「存在 (Being) の次元」を大切にすると午後が始まるのです。ユングによれば「人生の午後の時間」は「魂を豊かにしてゆく時」となります。

私たちは存在と行為

の前提です。人はどこまでも「human being」であって「human doing」ではないのです。「讓治、齢をとるということは大仕事なのよ」。これは私の母が晩年によく言っていた口癖です。私

に何も持ってゆけない。どれだけ多くのものを生涯で獲得したとしても、すべてを後に置いてゆかねばなりません。「空の空、一切は空」とある通りです(聖書協会共同訳コヘレト

そこには、思いのまま自由には吹く聖霊の風のそよぎがあり、天からの光の祝福があり、深い魂の喜びがあります。

人生の午後がいつ始まるかは私には分かりませんが、魂を豊かにしてゆくためにその時間を使うことが出来るならば、「一切は空」に見えるこの世の現実の中にも必ず「神はすべてを時に適って麗しく造り、永遠を人の心に与えた」(聖書協会共同訳コヘレト3・11)という喜びの次元が見えてくると期待しています。

多くの町において、礼拝で直接会うことができない私たちは今この時、私たちが果たせないことを「層明確に捉えなおすことが出来るからです。ルター派の人々は告白します。教会とは「全信徒の集まり」であって、その中で福音が純粋に説教され、聖礼典が福音に従って与えられる」(アウグスブルク信仰告白第7条)。

感染症が蔓延するしばらくの間、愛の行為において、更なる感染から私たちの隣人や町を守るために、私たちは「信徒の集まり」を實踐できずにいます。しかしこの時、私たちは「信徒の集まり」がどんなに大切かを理解することになるでしょう。

「人生の午前と午後」について語ったのはユングでした。午前中に私たちは遊びや勉強、仕事やボランティア、結婚や子育てなど「行為 (Doing) の次元」で一生懸命頑張ります。それ

を二つの次元に切り分けることはできません。それらはグラデーションのように濃淡を変え、区別はできても分離はできないものとして重なっているように思われます。しかし、存在は確かに行為に先立ち、そ

自身も齢を重ねるうちに次第にそう思うようになってきました。

「わたしは裸で母の胎を出た。裸でそこに帰ろう」(ヨブ1・21)とあるように、私たちは生まれ

ただ私たちが持つてゆくことができるものが

あると信じています。それは自身の「魂」です。だからこそ魂を豊かにすることが大切になるのです。ではそのためにどうすればよいか。マザー・テレサは「人の価値はいかに多くのものを自分か獲得したかにあるのではなく、いかに多くのものを他者と分かち合ったか」と言いました。

魂の豊かさは他者との連帯の中で与えられてゆくものであり、天から私たちに管理を託されたものを豊かに分かち合つてゆく喜びの中に培われるものなのです。

多くは真剣に「信徒の集まり」が何であり、どんなにそれを必要としているかを知ることが出来るのです。

しかし神の憐れみによって、私たちは再び集められます。そして、「式文改定」(Renewing Worship)が意味することにはキリスト者の集いを真実形作るそれら

た。ただ眺めることではありませぬ。そしてこれが「全信徒の集まり」です。私自身、信仰において、少なくとも私は信徒の集まりなしに生きることはできず、キリスト者であるとはできないと思います。

しかし感染症の蔓延故に、私たちの隣人への愛のために、時に私たちはそれなしに生きることを余儀なくされます。その時、私たちは真剣に「信徒の集まり」が何であり、どんなにそれを必要としているかを知ることが出来るのです。

「教会讃美歌 増補」解説



③ 増補版の目的と意義

讃美歌委員会

日笠山吉之

(札幌教会牧師・恵み野教会協力牧師)

今回は「増補版の目的と意義についてお話ししたいと思います。まず「増補」という言葉の意味ですが、それは前に出た書物の不十分な所を補うこと。ルーテル教会において、前に出た歌集とは言うまでもなく「教会讃美

歌」のことです。諸先輩方の多大なる尽力によって1974年に発行された「教会讃美歌」は、ルーテル教会内のみにとどまらず、他教団や他教派のその後の讃美歌集にも少なからぬ影響を与えました。当時、教会暦の順に収録された讃美歌集というのはいま

「教会讃美歌」にも足りない部分がありました。子どもや若者が喜んで歌える讃美歌が少ないこと。諸外国の新しい時代の歌ーと

「教会讃美歌」には収録されなかったルターの「増補版」には、ルーテル教会の揺籃期と、それから500年を経た現代に生きる私たちの賛美と祈りと信仰告白とが同居することになります。

歌は世につれ世は歌につれと言われますが、讃美歌の場合、新しい歌が良くて古い讃美歌は時代遅れということには必ずしもなりません。古くても新しくても、良いものは良い。時代を超えて歌い継がれていく讃美歌というものがあからず「増補版」に収録される讃美歌もそのようになってくれますように。

「式文ハンドブック」

② 信徒の集まり (Assembly) — 今、この時における日本の式文改定 (Renewing Worship) (ハンドブック35〜38ページ)

ゴードン・W・レイスロップ (フライデルフィア・ルーテル合同神学校礼拝学名誉教授)

感染症が世界的に流行するこのときさへも用いて、神は私たちに贈りものをお与えくださいます。「万事が益となるように共に働く」(ロマ8・28)。なぜなら、世界中の

では正確に、「信徒の集まり」とは何かがキリスト教の集まりとは次のことを行う人々による、公に開かれた集まりです。

— 聖書朗読、詩編と讃美歌の歌唱、イエス・キリストの福音の宣言、洗礼の実践と想起、とりなしの祈り、聖餐の感謝の祈りと授与、欠席者へのパンとぶどう酒の奉仕、世界の宣教と困窮する人々のための献金、そして最後に、世界への証言と奉仕のために全信徒の集まりを派遣すること。

これらすべては牧師と共に、参加者全員によって実践され、他の誰かの行為を

た。皆さんの新しい典礼は実際、新しいものではなく、一全てのイエス・キリストの教会との交わりにおいて「回復された」信徒の集まり」の伝統的かつ確かな中心に位置するものです。それ故、古くて新しい皆さんの典礼によって回復される「信徒の集まり」もまた、この厳しい時代に与えられる神様からの贈り物です。

(翻訳 平岡仁子)



九州教区豪雨災害支援活動報告

角本浩（九州教区長・神水・荒尾・合志・松橋教会牧師）

7月3日から九州で降り始めた豪雨は、特に熊本南部で大きな被害をもたらしました。熊本南部の水俣教会の関牧師と、教区の白川、安井両師ならびに角本が連絡を取り合い、支援活動を開始。熊本地震のあと、九州教区ではいざという時に教区長、副教区長、財務部長の三者のうち2名が同意すれば、100万円を上限に活動できるという積立基金を設けています。

今回その基金を用いて、初動を展開しました。詳しい内容は、「ルーテル九州教区支援情報」をブログやフェイスブックでご覧ください。安井先生が丁寧にアップしておられます。

第1クールでは、熊本南部での支援物資の情報を現地で収集し、これを全国に発信。物資支援をお願いする期間を2週間ほど設けましたが、出だしの数日で予想をはるかに超える物資が送られてきまし

た。水俣教会を送付先にしていましたが、途中神水教会に変更。さらに神水に送られてきた物資も十分な量を超えたので一旦停止をお願いすることになりました。物資支援をお願いしてから、一旦停止をお願いするまで、わずか5日です。全国各地の皆様との祈りと、いち早い支援物資集めと発送の動きが伝わりました。この場をお借りして、皆様のご支援、ご祈祷に心から感謝申し上げます。皆様の祈りに後押しさせていただきます。

津奈木地区のボランティアセンターでのボランティア活動に参加していくこと。さらに、熊本南部の豪雨に引き続き起こった筑後地区での豪雨災害への対応も、遅ればせながら始めているところだ。

この原稿を皆様がお読みになるころには、また次の段階に入っているかもしれない。なにか、感染拡大とあいつて先の長い取り組みになつていきそうだからです。

なお、今回の活動をするにあたって、「オンライン会議」が力を発揮したことは特筆すべきことかもしれません。刻一刻状況が変わる中、今日何がどこまで進み、明日は何が課題であるか。担当者がほぼ毎日オンライン上で情報を共有し、協議を進めて来ることができました。

被災された方々の上に神さまの助けが届きますように。援助活動をする方々の働きが守られますように。主に祈りつつ。



ボランティアセンターの活動に参加し、浸水した住宅の清掃をお手伝い

第2回オープンセミナーのご案内

三浦知夫（神学教育委員長・東京池袋教会牧師）

日本福音ルーテル教会（神学教育委員会）では、日本ルーテル神学校と日本ルーテル教団神学教育委員会との共催で、献身者を起すための継続的なプログラムとして、昨年より「オープン・セミナー」を開催しています。

昨年、今年、オンラインでの開催として計画しました。将来神学校への進学を検討している方、教会と牧師の働きに関心をもち将来の宣教を担う可能性のある方、教会関係諸施設で働いている方、働こうとしている方、働いて欲しい方を対象に、神学校の雰囲気を知っていただき、教会と牧師の働きについて学び、それぞれの信仰について分かち合う機会を持ちたいと考えています。

での生活の紹介、交わり、証しなどを予定しています。対象は、18才以上30代までの日本福音ルーテル教会・日本ルーテル教団の信徒で、参加者は10名までとさせていただきます。参加を希望される者は、所属教会牧師からの推薦とともに各教区長にお申し込みください。詳細は各教会牧師までお問い合わせください。申込みの締め切りは9月20日（日）とさせていただきます。

立山忠浩（日本ルーテル神学校校長・都南教会牧師）

昨年、今年、オンラインでの開催として計画しました。将来神学校への進学を検討している方、教会と牧師の働きに関心をもち将来の宣教を担う可能性のある方、教会関係諸施設で働いている方、働こうとしている方、働いて欲しい方を対象に、神学校の雰囲気を知っていただき、教会と牧師の働きについて学び、それぞれの信仰について分かち合う機会を持ちたいと考えています。

神学校の模擬授業、神学生との交流、質問コーナーなどのプログラムを準備しています。私自身にとって神学校は実に遠い存在でした。でもインターンに来ていた神学生から神学校

の話聞いて、実に近い存在となったのです。用意するすべてのプログラムが、皆さんが神学校をより身近に感じていただくためのものです。



神学校の教師陣が皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

第29回定期総会延期のお知らせ

滝田浩之（事務局長）

8月6日（金）に行われた第10回臨時常議員会において、9月21日（月）に分散した会場で開催する予定であった第29回定期総会を2021年5月4〜5日（火・水）に再延期することが決定されました。

日本福音ルーテル教会規則第4編第2章第36条に「総会議長は、やむを得ない理由により5月中に定期総会を開催することができない場合には、召集の時期を多少変更することができる」とあり、この「やむを得ない理由」と「多少変更できる」という文

言に今回の状況が当てはまるかどうか常議員会は審議を行いました。常議員会としては7月後半から猛烈な勢いでCOVID-19の感染が全国に拡大していることを総合的に勘案すると再延期は「やむを得ない」と判断したところ。また感染症の状況を見極め対処していくことを確認し、開催予定を2021年5月といたしました。今後、感染症の状況によって早期開催が可能な場合は、開催を検討することとしています。また同じく、5月開催についても開催できる合理的環境が整っているかについて検討されることとなります。

付帯決議として宗教法人「日本福音ルーテル教会」規則第2章第1節第8条3項「会長及び常議員は、辞任または任期満了後でも、後任者が就任する時まで、なおその職務を行うものとする」に基づき、第28回定期総会で選出された常議員が次回開催される定期総会まで任を担うことを確認しました（現段階では来年の5月末までとなります）。この条項に伴い第28回定期総会で選出されていますが、「総会」に付託されている責任の大きさを自覚しつつ、何よりも、この感染症拡大の中で起こってくる様々な課題に各教区と対話をしつつ、一つ一つ丁寧に対処していく所存です。よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

総会閉会中は、引き続き第28回定期総会で選出された常議員が、その任を担って参りますが、「総会」に付託されている責任の大きさを自覚しつつ、何よりも、この感染症拡大の中で起こってくる様々な課題に各教区と対話をしつつ、一つ一つ丁寧に対処していく所存です。よろしくご理解のほどお願い申し上げます。